

川村中高図書館



おすすめ図書

(QRコードから出張貸出も利用できます)

ついに10月。2学期が始まりました。10月といえばハロウィンですが、起源は古代ケルト人の秋の収穫祭だといわれています。古代ケルト歴では10月31日が1年の終わりの日とされていました。夜にはあの世とこの世の境目がなくなり死者の霊が現世の家族に会いに来ると信じられていたそうです。御先祖様には前向きに明るく生きている自分を見せたいものですね。今回は「生きていくこと」について考えるきっかけとなる本を紹介します。

クローンドッグ

今西 乃子 金の星社 (913/イ)

いじめを受けていた主人公は、ある日虐待され足が不自由な子犬を拾います。子犬は心の拠り所となっていくますが、そんな時ペットを蘇らせるクローンの会社があることを知ります。その犬は不自由な足がない、健康に生まれ変わった犬で…。今、この瞬間、一生懸命生きているこの時間が1番大切なのだな、と改めて考えさせてくれる物語です。

極アウトプット

「伝える力」で人生が決まる

樺沢 紫苑 小学館 (159/カ)

この本を読むと、前向きに生きることの大切さを改めて考えさせられます。うまく行かないことは失敗ではなく全て「エラー」で、エラーは失敗ではなく全て「小さな成功」…。一步踏み出す勇気が大切で、一步踏み出さないということは、宝物も手に入らないということ…。「ああそうか」と行動したあなたは、きっと今より素敵な人生が待っているはず。



こちらもおすすめ

あるヘラジカの物語

鈴木 まもる あすなる書房 (913/ス)



星野道夫の遺した写真から生まれた物語。角を絡ませて死んだ2匹のヘラジカがそこに住む様々な動物たちの命に繋がっていきます。壮大な自然の中で起こっている自然の摂理。読み終えたあとに、穏やかな気持ちで命を感じることができる物語です。

探してみてくださいね

中高図書館にはハロウィンに関連する本もたくさんありますよ。ハロウィンについて調べてみることはもちろん、折り紙の本を見ながらかぼちゃや魔女を作ってみることもおすすめです。いろいろなハロウィンを探してみてくださいね。

